

(二)船場川 姫路競馬場 洪水調節池 だより

第10号
平成29年11月30日
兵庫県中播磨県民センター
姫路土木事務所

Q1 分水施設(現場打ち鉄筋コンクリート構造物)を建設中です！

「軍人橋北交差点」東側の船場川左岸側で、分水施設(現場打ち鉄筋コンクリート構造物)の建設が進んでいます。【右写真は現在の作業状況です】

施設のほとんどが地下に埋まった構造物になることから頑丈な構造にするため、コンクリートの底厚は1.3メートルもあります。

また現場では、土留矢板を補完するための水平土留材がたくさん設置された作業がやりにくい環境の中で、「足場材の設置」「鉄筋の設置」「型枠の設置・取外し」「生コンクリートの打設」等を進めており、ひきつづき安全第一のもと、建設を進めていきます。

現時点で分水施設の完成は、平成30年5月末の予定です。



分水施設の底床のコンクリートは、1.3mも厚みがあり、土木構造物ならではの頑丈な構造となっています。



大きな地震にも耐えることができるように、コンクリートの中には非常にたくさんの鉄筋を配置しています。



鉄筋と鉄筋との間に体を入れ、非常に狭いところで、生コンクリートの打設作業を行っています。




狭い場所での建設作業は続きますが、安全第一で進めていきます。

Q2 12月から姫路競馬場内で「洪水調節池整備工事」に着手します！

これまでに、馬が走る馬場の内側エリアで、掘削等の工事を段階的に進めてきており、今後平成30年6月から船場川の洪水を貯めれるよう、『洪水調節池』の完成に向けて、仕上げ段階の工事に着手していきます。

工事が始まると、大きな車両通行が増える等、地域の方々へはご迷惑おかけいたしますが、ご理解頂きますようお願い申し上げます。

完成すると、姫路競馬場の内馬場に、大雨時に12万m³の河川水を一時的に貯留することができるようになります！！

12万m³ =  × 約400個分

現況(H29.11月上旬)



完成イメージ



■船場川のある風景■

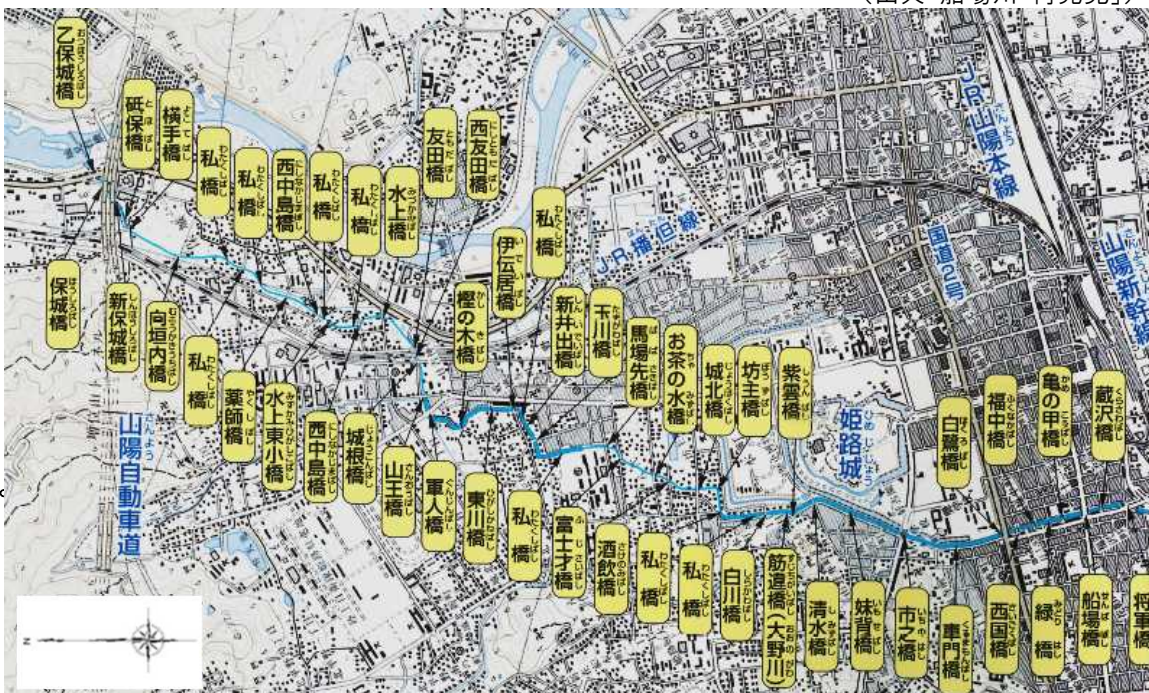
(出典:船場川「再発見」)

船場川には、いくつかの橋が架けられているのをご存じでしょうか。

右に掲載した図は、JR山陽本線より北側のエリアで、船場川に架かる橋の名称を地形図へ書き込んだものになります。

多数の橋が架かっていることに驚くのと同時に、私たちの生活にも密接に関係した貴重な橋であることが改めて認識できます。

また、橋の名称に目を向けてみると、歴史を感じる橋や、由来が気になる橋など、様々な想像が膨らんでこないでしょうか…。



この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平12近複、第338号)